

新内の楽しみ3

浄瑠璃と三味線が綴る、二つの愛の物語

新内志賀

新内研進派三代目家元八代目新内志賀 しんないしが

【演目】 新内浄瑠璃 「日高川入相花王」

ひだかがわいりあいざくら

新作新内浄瑠璃 「月の媪」

つきのおうな

【出演】

新内志賀 浄瑠璃・三味線

新内志賀桜 三味線

新内志賀日向 三味線

ゲスト

吉田光華 乙女文楽／人形遣い

平成30(2018)年

9月9日(日) 午後2時開演

茨木クリエイトセンター・304号室



- 主催：公益財団法人茨木市文化振興財団
- 制作：株式会社 アクティブKEI
- 後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

3回目となる新内の楽しみは、古典作品は道成寺もの「日高川入相花王」を乙女文楽の吉田光華をゲストに迎えて華やかにお送りします。

新作はちょうど当日が菊の節句、また、秋といえば月にちなんで、咲き乱れる菊の中で月に照らされて媼が語る物語「月の媼」を上演します。

併せて、お話と演奏による邦楽豆知識コーナーは、当日のお楽しみに！

「日高川入相花王」

安珍清姫の伝説をもとにした道成寺もの。義太夫から新内に移した作品は「段もの」と呼ばれていますが、その一つです。

恋する安珍を追って日高川の渡し場にたどりついた清姫でしたが、船頭は川を渡してくれず、安珍への激情から怒りとなると清姫は日高川に飛び込み大蛇と化身します。

女性一人で人形を操る乙女文楽の吉田光華をゲストに迎えての共演です。

道成寺ものについて

熊野参詣の若い僧が宿の娘に懸想され逃げ出すが、娘は蛇体となって追いかけて、僧が隠れた道成寺の鐘に巻き付き焼き殺したという伝説は「今昔物語」などに見られます。それをもとに能「道成寺」ができ、歌舞伎舞踊では長唄「京鹿子娘道成寺」が名曲として知られています。人形浄瑠璃では「道成寺現在蛇鱗」が作られ、それに続いて「日高川入相花王」が生まれました。新内節の日高川は、人形浄瑠璃の音楽である義太夫節で上演された台本をもとに、新内の節付けがされたものです。

「月の媼」

旧暦9月9日は菊の節句として不老長寿を願い、菊の花を用いて祝っていました。その故事にちなみ、能の「三老女」を手本として、今日の生命科学の進歩と生きることに本質を心に巡らせて創作したものです。

重い病にかかった女は、この世に一人残される子を不憫に思い、病の平癒を神仏に祈り、不老不死の菊の露を口にします。しかし永遠の命を得たばかりに、全ての愛しい縁者にも先立たれてしまうのですが…。

月のみを友として過ごす媼の物語をお楽しみください。

新内志賀 しんないしが



京都市生まれ。幼少期から江戸浄瑠璃新内節を研進派初代家元・新内志賀大掾及び新派家元・富士松菊三郎に師事。小唄を里園派宗家・里園志寿栄及び里園志寿華に師事。2012年研進派家元、並びに新内志賀の襲名を果たし、現在は一門の指導・育成に献身している。本名の重森三果名義では、さまざまな文学をもとに脚色した作品や自ら書き下ろした楽曲を、新しい試みをもって精力的に発表している。また数多くの映画・テレビ等において邦楽指導、演奏出演するなど多岐にわたって活動をしている。2014年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。

吉田光華 よしだ みつか



3歳で日本舞踊若柳流に入門、12歳で名取となる。

その後、乙女文楽・吉田光子に師事、吉田光華を襲名。

長年培った日本舞踊の素地を生かし、伝統の上に独自の感性を重ね、義太夫はもとより、新内、長唄、常磐津、小唄、などの邦楽に合わせて、従来にない演目を振付け創作。また落語、狂言、朗読、洋楽などさまざまなジャンルとのコラボレーションで、乙女文楽の新境地を開拓し幅広く活動。女性一人遣いならではの優雅で繊細な柔らかな動きが魅力と人気をよんでいる。

国内だけでなく、フランス、オランダ、オーストリア、カナダ、インドネシア、ラオス、韓国などで招聘公演多数。

<http://www.otomebunraku.jimdo.com>

新内志賀桜 しんないしがおう



4歳から新内志賀に師事。2017年、東京藝術大学(長唄三味線専攻)卒業。現在、京都市立芸術大学(日本伝統音楽研究専攻)修士課程在学中。長唄を稀音家温子、東音新井康子に師事。

新内志賀日向 しんないしがひな



13歳から新内志賀に師事。映画「沈黙」、テレビ「必殺仕事人」「大奥」「鬼平犯科帳」等の映像作品の三味線演奏に参加。舞台では国立文楽劇場、京都芸術センター、また京都を中心としたイベント等で演奏。

平成 30(2018)年 9月 9日 [日] 午後 2 時開演 (1時45分開場)

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)3階・304号室 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席自由] 1,500円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き *就学前のお子様はご遠慮ください

8月7日[火] 9:00予約開始

発売初日はインターネット・電話予約のみです。初日の電話予約は1回につき6枚まで。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00~17:00)

インターネットチケット www.ibabun.jp

予約後は下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売(残席がある場合)は発売翌日からです。

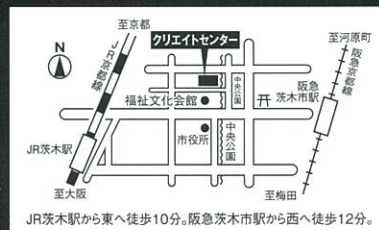
◎クリエイトセンター1階チケットカウンター ◎福祉文化会館3階チケットカウンター (共に9:00~17:00)

*インターネット予約の場合、セブン-イレブンでご精算・受取いただけます。(要手数料108円)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」で

お支払ください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

(払込口座) 00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。